

大萱教室 支援プログラム

法人理念 目の前の人に喜んでもらうことに、全力を注ぐ

支援方針 一人ひとりの「いま」と「これから」を大切に、5つの領域を通して発達を総合的にアセスメントし、その子“まんなか”で強みを伸ばす支援を行います。遊びや日常の経験の中で「ヤッテミタイ・イッショガタノシイ」を積み重ね、ご家族と協働しながら育ちを支えます。



利用のご案内

営業日 月曜日～土曜日 / 時間 9:00～17:00
1回45分程度の個別療育、もしくは集団療育での支援です。
本人とご家族の両面をサポートします。送迎はございません。

こども“まんなか”の支援 5つの領域から、その子“まんなか”で育ちを支えます



つまずきの発見 どんなことが苦手か、どのような支援を必要としているのかを、さまざまな専門家が5つの領域を通して見極め、総合的に支援します。



健康・生活

習慣となることがらに触れ、主体的に何度も経験を繰り返すことで、生活のリズムが整っていくように支援します。



運動・感覚

からだを大きく動かすことから、指先を細かく使うことまで。経験を通して全身を使って楽しむように支援します。



認知・行動

色・数・文字・物の名前に興味を持ち、それらを使って楽しむよう支援します。思い起こしながら遊べるように導きます。



言語・コミュニケーション

身ぶり手ぶりや言葉をとおして、他者とやりとりする意欲を育みます。少人数での関わりを重ね、友達との交流を楽しめるように支援します。



人間関係・社会性

大人や友達との楽しいやりとりから、自分とは異なる相手の気持ちに気付き、自分の行動を変えていけるように支援します。



家族の安心

別室で支援内容の説明や相談ごとをやりとりしながら、お子さまと療育者の関わりを客観的に観察します。プライバシーの守られた環境で個別のご相談も承ります。ご兄妹に関するご相談も可能です。



集団生活への移行支援

保育園・幼稚園・こども園・学校等の集団生活の場で、楽しくお友達と関わり育ち合えるよう、個別ならではの支援を実施し、適切な移行につなげます。



アセスメントとモニタリング

困りごとや過ごしづらさ、ご家族の思いを丁寧に聴き取り・評価し、希望を反映した**個別支援計画**を作成。目標に沿って支援し、**6か月ごと**に見直します。



関係機関との連携

地域の関係機関と連携して支援します。

クリニック・医療機関

市役所・支所

相談支援事業所

認定こども園・保育園・幼稚園・学校等



主な行事

年間を通じて実施します。

保護者懇談会

就学前懇談会

あおい湖フェスタ